

2014年7月2日

内閣総理大臣 安倍 晋三 様
防衛大臣 小野寺五典 様

日本基督教団 部落解放センター
運営委員長 東谷 誠
活動委員長 岡本拓也
大阪府大東市緑が丘2-16-14
Tel.072-875-8470 FAX072-875-8471
E-mail blc@nyc.odn.ne.jp

抗議文

7月1日にキャンプ・シュワブ内で辺野古新基地建設の工事が始まったことに対し、深い怒りをもって抗議します。

政府は、沖縄への負担軽減を繰り返し発言してきました。先日6月23日の沖縄「慰霊の日」式典においても安倍首相は「米軍基地の集中が今なお沖縄県民の大きな負担となっています」と述べていますが、名護市辺野古に新たに基地を作る暴挙を考えれば、その言葉は極めて空々しく、沖縄県民のみならず平和を愛する多くの人びとに対する欺瞞であり冒涇です。

辺野古新基地は普天間基地の代替施設と言われていますが、時代が変われば新しい兵器専用の基地が必要となります。従来からキャンプ・シュワブ内には巨大弾薬庫があり、そこに大型貨物タンカーや強襲揚陸艦が接岸できる岸壁を新たに造り、V字型滑走路を2本持つアジア最大級の最新基地を建設しようとするのは、基地拡大を助長するものであり、沖縄の負担を軽減するどころか増幅させることでしかないのは明白です。

日本基督教団部落解放センターは、差別をなくす運動を展開しています。辺野古新基地の工事着工は沖縄県民、名護市民、多くの人びとにばかり負担を強いて、今以上の深い痛みを与えるものであり、沖縄に対する差別であると言わざるを得ません。差別のない平和な世を求める私どもは、辺野古新基地建設の即時中止を強く求めます。